

e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2014

発行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
北海道帯広市西23条北2丁目17-6
マルハニチロ

エルニーニョじゃ。北海道全域で、長雨が続き水浸しになっています。先月号の干ばつはなんだったんだろう。帯広でも2週間ぶっ続けで雨雨雨。札幌では観測史上始まって以来の連続雨記録です。今まで1カ月以上もまとまらぬ雨もなく、畑はカサカサ状態だったのが、一気に盛り返しました。がぁ～畑には入れない。ジャガイモは、成長するに従って、土盛りしないとイモが顔を出し、青いイモになって商品にならない。その作業ができない。天の神様、極端すぎるよ。雨の中で伸びるのは牧草。一般の人には雑草に見えるかもしれませんが、草だけは伸びますよね。これも、刈り取り適期を乗り越えて穂がたわわになりました。ここまで来ると牛も喉つまりするかな。ちょっと倦怠期の牛の胃には、良い刺激になるかもしれません。

やっと数日前から晴れ間が差しました。なんと、お日様ってまぶしいことか。5月の日照りでもう見たくないと思ひ、6月の長雨でうらやましいと思ひ、久しぶりに会うとうれしいと思ひ、人の心をもてあそぶかのようですね。

さて、W杯も終わり(中略:「ザックJAPANは」でした)、目標の無くなった皆様、まだまだですよ。安倍総理の成長戦略の発表会。TPP絡みの安倍劇場のPRとは言え、農協改革など農業ターゲットの政策がどんどん出てきています。日本のこう着した経済、特に私たちの取り組む食料生産・農業には、イノベーションが必要です。私たちが気持ちを持ち続けないと、単に出された政策に流され、餌食になってしまいます。



NEWSばか読み

- 北海道生乳生産危機 離農/3割先行き不安で継承せず
5/27: 明るい酪農はないの
- 日本フードサービス協会 肉系外食産業好調
5/27: モオ～リモオ～リ食ってくれ
- 米産国トウモロコシ 作付平年並みに回復
5/29: 穀物相場は気になるところだね
- 畜草研セミナー GABA野菜に有効性 5/29: 畜産応用できないか
- 全農 秋肥料値下げ 国際市況下落
6/1: 最近の資材市況の悪化が気になるところ
- 政府 農政改革大詰め 6/3: 農協解体 本当の狙いは何
- 九州 梅雨入り 帯広34℃全国一
6/3: なんでも日本一はいいとは限らず 暑い
- 日本のCO2 2010/2012比較で7%上昇 火力発電の影響
6/4: 原発善し悪し
- 出生率 過去最低102万人
6/5: それでも赤ちゃん100万人いるんだ。頑張らないと。
- 農水省 PEDの影響試算 生産5%減少
6/6: 今年いっぱい豚相場に影響するよ
- ニポンウナギ 絶滅危惧種に
6/7: 蒲焼食いたい～気持ちが大切 牛肉売ろぞ

- 脱脂粉乳 国際相場下落 オセアニア増産中国買い一服
6/11: 相場に左右 生活不安定
- エルニーニョ 冷夏注意情報 6/12: 今年から畑やり始めたんだよね
- 輸入バター-SBS 国産バターより割高落札 6/13: 輸入物が安いとは限らず
- 豪州 炭鉱の相次ぐ操業停止 6/14: 中国経済に影響される資材相場
- 政府 法人税率下げ20%で検討 6/15: 一般国民の税率は
- ミラノ博2015 食の国際博覧会 日本食提案
6/16: 和食風イタ飯が食えるかな
- スターゼン 欧州へ和牛初輸出全国2例目
6/17: 和牛消費のグローバル化進む
- 経産牛初回受胎率低下2002年46.7%→2012年37.7%
6/17: 規模拡大のデメリット
- 全農 植物性たんばく原料の代用乳販売が拡大 6/18:
- 地位的表示法が成立 6/19: 産地ブランド化に法の規制がかかる
- 豚脂(ラード)値上げ 6/19: PEDの影響で出荷頭数の減少が深刻
- ロッテリア ブランド和牛のバーガー発売 6/20: 味の特徴は出せるの
- JA芽室 産地ブランドで成果 じゃがマチルダを使ったカレー
6/23: がんばるね
- 改正担い手経営安定法 成立 6/24: はやく担い手作らないと
- 食品表示法改正 来年6月施行
6/24: 栄養表示必須科目、ラベルスペースあるかな
- JA全農 ロンドンで和牛試食会
6/25: EU肉牛原産地に一石なるか

東京直近NEWS (6/25ShREPORT)

ホルス

7月の枝相場は上げ相場にてシフト。大阪南港市場が高値維持し、建値相場が引っ張られる状況。

部分肉の販売状況は低調。5月母の日、ヒレの販売も目立った引合い無し。6月父の日、ロースの販売も静かな日曜日。牛肉消費するイベントも低調。運動会シーズンであり財布の紐は固い。

枝相場は上がっているが、値上げ交渉も既に天井状態と再三の値上げから一部末端は他の品種や畜種にシフトしている模様。

7月は夏休みに突入するため、給食事業も停滞で販売はさらに鈍化予測。関西以西からは大手メーカー投げ売り始めているとの情報あり、マーケットへの新規参入か棚割り確保の意図か不透明も、正肉の相場下げているのは明確。(一部は経産パーツに近似値の部位もあり)それと同時に販売停滞影響が大きい。今後の焼き材シーズンへ向け、バラ系焼き材パーツ需要高まりを期待。

経産牛

相場は相変わらず高値更新状況。ホクレン生体市場単価も毎月最高値連続更新中。本州市場からの家畜商も買参人として、道内市場に参入したのが、相場高騰の要因。各メーカー挽材の冷凍在庫はギリギリの状況。在庫的に1ヶ月は切っている模様。系統でも2カ月程度の噂。

供給責任と工場稼働の意図から買い手の購買意欲は未だ衰えない。相場は本州より道内が高く、ホル去に迫る勢い。販売先に対して暫時値上げ交渉実施。玉不足からある程度の値上げは進む。が、その価格も限界を超えている状況から、アイテムカットか輸入への切り替えか、微妙な判断に迫る価格帯まで上がっている。

左先生の畜産学研究NEWS

先月はオバマ訪日でマスコミの話題はTPPの日米交渉に終始しましたが、今月は集团的自衛権の行使容認の閣議決定が大問題です。国民にとって重大事態ですが農業生産者にとっては、TPPと共に5月以来の農協改革の具体策の行方が気になります。労働人口が減って産業基盤が脆弱になる日本の将来を展望すると農業者だけではなく国民全体の問題としてわが国の農業政策のあり方を考えるべき時期にきています。こんな時にも農家は自然界の異変に直面しながら直ぐの対応を迫られています。報道と連携しつつ日本の農業の置かれた現状と重要性を正確に伝えることが大切でしょう。これは、当面のお金の問題に片付けては済まない問題です。牛肉流通界での霜降り一辺倒の見直しもその表れでしょう。持続的農業生産と資源循環型肉牛生産を目指す環り協の活動はその役割は大きく、他の組織との連携も急務と思われまふ。今回も学会・研究会情報を紙面の許す範囲で逐一紹介してゆきます。

1. 2014.3.29 畜産学会と同時に開催の日本産肉研究会第13回学術集会・日本食肉研究会第55回大会合同大会について解説します。産肉研究会は牛肉の黒毛和種を中心にした霜降り偏重の見直しと学会員へ生産現場の実態を理解して貰うというコンセプトで発足したと理解しています。従って学会開催時に同じ会場で開催しています。今年で13回、合同

開催の食肉研究会は55回です。両者には「食肉の生産から食卓までを繋ぐ」という共通概念があると言います。構成は特別講演「おいしさの構造」と「食肉のおいしさを科学する」「おいしい赤身牛肉を生産する」「食肉のおいしさを消費者にどう伝えるか」の3部です。「美味しさではなくおいしさ」が食肉の共通項となることに古い時代の人間には想像も付かないことで、時の流れ・環境と価値観の変化を感じます。おいしさとは、生理的欲求に叶い、食文化や情報により影響され、脳科学的に理解されていることの特別講演と共に各部では牛肉の香り、食肉の呈味成分、放牧牛肉のフレーバー成分の解明や消費者・市場を意識しての赤身肉のブランド化や流通策の要点などの見解が示されました。尚、当協議会の花房理事の講演は第2部で行われました。

2. 2014.5.17 家畜栄養生理研究会春季集談会: 日本獣医生命科学大学
この研究会の集談会は、評議員の推薦により話題提供者が決まり、毎回5-6件の演題です。1題の講演時間も外の学会よりも長く、学位論文程度の内容です。春の話題は自由で、基礎的に深く掘り下げたものが多く、聞き応えがあります。秋はテーマを決めています。牛肉の話題は多くありません。今回も残念ながら鶏や豚が中心ですので内容は省略します。

道総研 畜産試験場NEWS 3回シリーズ

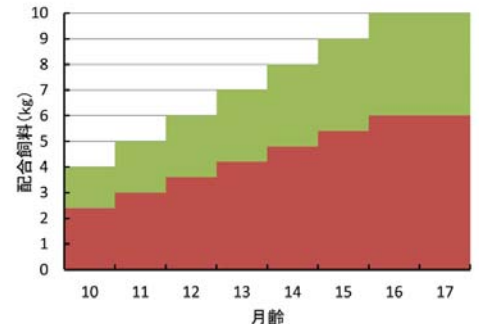


CS分離給与時の成績

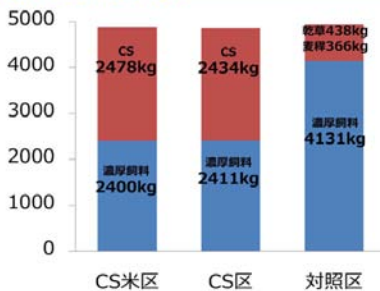
試験牛: 黒毛和種去勢牛15頭
(開始時10.3カ月齢、316.8kg)

試験処理:

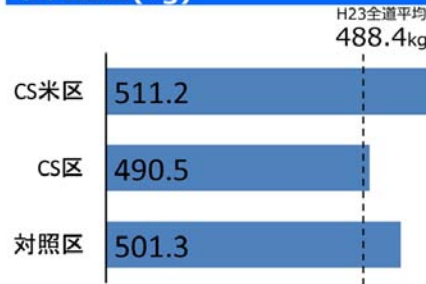
	CS米区	CS区	対照区
粗飼料	CS		乾草 麦稈
濃厚飼料	飼料米40% 混合飼料	肥育用配合飼料	



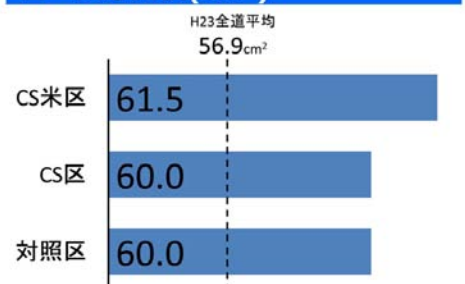
乾物摂取量(kg)



枝肉重量(kg)



ロース芯面積(cm²)



活動のお知らせ

- 6/6(金) カルビーポテト(株)帯広工場ポテトピール第2回検討会を行いました。ポテトピール脱水処理加工2方式で検討。次回検討会 8月初旬予定
- 6/7(土)10:00~ ランチョ・エルパソ(帯広市) 環境リサイクル肉牛協議会 15回NPO法人第6回総会・飼養技術研修会を行いました。総会資料・飼養技術研修会のデータは近々公開いたします。
- 一般社団法人 場所文化フォーラム 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)に採用されました。10月のシンポジウムの開催資金に活用できます。
- 北海道肉牛研究会幹事会 第19回大会開催要領(案)が固まりました。10月30日(木)~31日(金)富良野文化会館 テーマ「牛肉の輸出・輸入と今後の展望」



総会・飼養技術研修会